

江戸時代のハイテク製品がいっぱい！  
当時の科学技術にわかりやすく迫ります！



総革製の忍者鎧

# 科学する

火縄銃・甲冑・医術・忍術

企画展

# 江戸を



鉄砲鍛冶が作った、江戸時代唯一の金属製望遠鏡

息討器  
真田幸村発明「目潰し」



江戸時代の最大の砲弾  
打ち上げ花火



大名時計 和時計

2019年

10月9日 水 ~  
12月14日 土

会期中(原則)の水曜日~土曜日  
水・木・金曜日は、10時~16時 | 土曜日は、13時~17時  
※必ず、事前に開館日時をご確認ください

会場

リバティおおさか(大阪人権博物館)特別展示室

入場料

おとな | 前売り:800円 当日:900円(入館料500円+企画展400円)

小・中 | 400円(入館料200円+企画展200円)

大・高・65歳~ | 600円(入館料300円+企画展300円)

障がい者、付き添い、引率 | 無料

●団体20名以上は入館料が100円引 ●前売り券の販売は10月8日(火)まで ●お問合せ先 | machinoyosuga@gmail.com (担当:足立)

会期中

随時ギャラリートークも開催

詳細は、Facebookイベントページ、  
リバティおおさかHP等でお知らせします。

Facebook  
イベントページ



リバティおおさか  
ホームページ



主催:「江戸を科学する」開催実行委員会 共催:一般社団法人ひとことつむぐ 後援:大阪人権博物館 デザイン:株式会社シカトキノコ

# 江戸の科学はこんなに進んでいた！

今回の企画展のコンセプトは、「江戸を科学する」。江戸時代は封建社会で文明(西洋)から立ち遅れていたと思われがちですが、果たしてそうでしょうか。監修の澤田平氏によると、この疑問から、前近代の被差別民を含めた職人技や武術、医術の中に、すでに西洋に匹敵する技や科学があることに気付いたといいます。整骨医でもある澤田氏は、武具に使われた革や鉄砲、和時計、医術器具、捕鯨道具、地震探知機まで多岐にわたるものを通して科学・医術や歴史を見ることに徹し、これまで誰も語らなかった江戸の科学に迫ります。



捕鯨用大火縄銃

監修  
澤田平



昭和10年大阪市生まれ。近大法科、関西医療学園を経て、大阪市東成区の整骨院院長。堺鉄砲研究会を主宰し、古式砲術や古式銃の研究に取り組む。和時計やエレキテルなど江戸時代の科学技術の研究家としても知られ、テレビ番組「開運!なんでも鑑定団」の鑑定士として有名。



家康公を狙撃した馬上用火縄銃



鉄砲鍛冶が作った自転車



地震予知機



企画展

# 江戸を

火縄銃・甲冑・医術・忍術

# 科学する

2019年

10月9日(水)~12月14日(土)

会期中(原則)の水曜日~土曜日  
水・木・金曜日は、10時~16時 | 土曜日は、13時~17時  
※必ず、事前に開館日時をご確認ください

## 講演・実演

「あなたも真田幸村や忍者になれる?!」  
あっと驚く実演、江戸時代の科学が目の前に

- 第1講 | 10月13日(日)  
「火縄銃」から広がるものづくり
- 第2講 | 11月17日(日)  
江戸時代の科学・医術
- 第3講 | 12月8日(日)  
これが忍者だ!

開場 | 13:00 会場 | リバティホール  
開演 | 14:00 参加費 | 900円  
終了 | 16:00 申し込み | 不要  
企画展の見学もできます。(13:00~17:00)

## ACCESS

リバティおおさか(大阪人権博物館)  
〒556-0026 大阪府大阪市浪速区浪速西3丁目6-36



- JR環状線「芦原橋駅」下車、南へ約600m
- JR環状線・大和路線「今宮駅」下車、西へ約800m
- 南海汐見橋線「木津川駅」下車、東へ300m

ホームページ <http://www.liberty.or.jp/>